

ACCESS

■ 横浜市営地下鉄ブルーライン主要駅から蒔田駅までの所要時間



■ 蒔田駅から横浜英和学院までの所要時間



「横浜英和学院」までの所要時間
 地下鉄蒔田駅…徒歩8分
 京急井土ヶ谷駅…徒歩18分
 バス停通町1丁目…徒歩10分

学校法人 横浜英和学院
青山学院横浜英和小学校

〒232-8580 横浜市南区蒔田町124番地 TEL: 045-731-2863 FAX: 045-743-3353
<https://www.yokohama-eiwa.ac.jp/shougakkou/>



Aoyama Gakuin Yokohama Eiwa Elementary School

2026

青山学院横浜英和小学校 心を清め 人に仕えよ



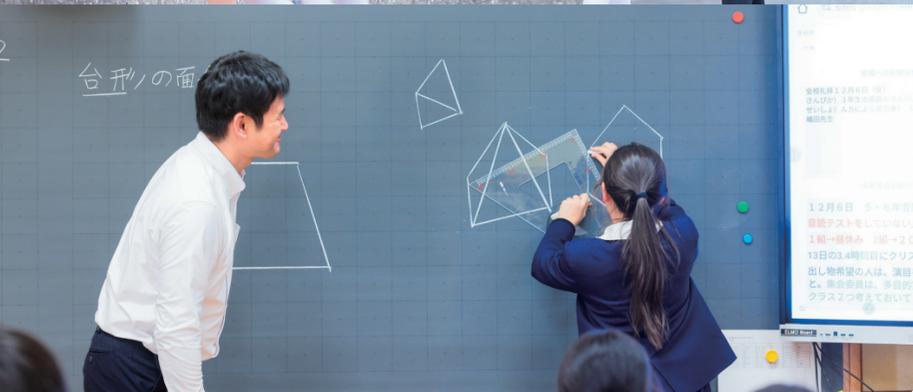
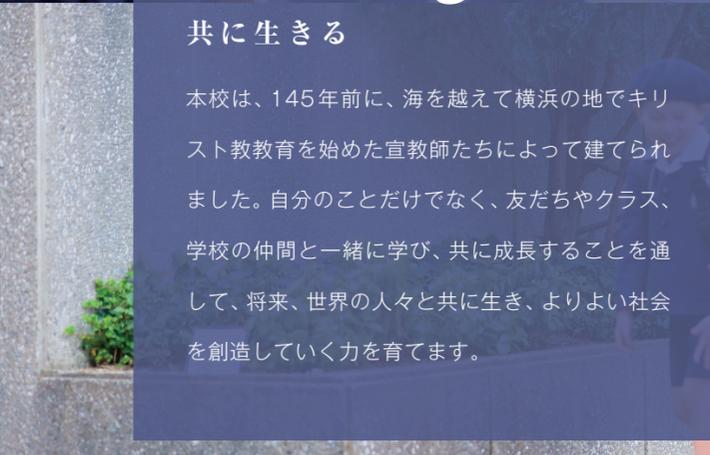
Live together

共に生きる

本校は、145年前に、海を越えて横浜の地でキリスト教教育を始めた宣教師たちによって建てられました。自分のことだけでなく、友だちやクラス、学校の仲間と一緒に学び、共に成長することを通して、将来、世界の人々と共に生き、よりよい社会を創造していく力を育てます。



01 Aoyama Gakuin Yokohama Eiwa Elementary School



4つの教育目標

おそ
神を畏れる子ども

P.03

人間を大切にする
子ども

P.05

考える子ども

P.07

やりぬく子ども

P.09

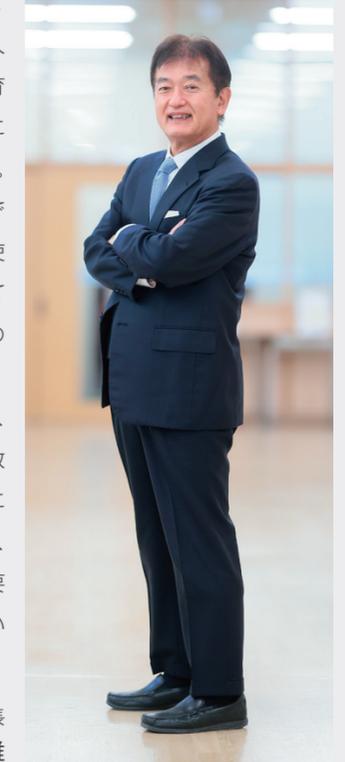
青山学院横浜英和小学校では、
スクールモットー「心を清め 人に仕えよ」をより具現化した、
4つの教育目標を掲げて日々の教育活動を行っています。

MESSAGE

かけがえのない一人のために

青山学院横浜英和小学校は、「かけがえのない一人」に対して、神からの「愛」と「人格教育」を大切にしているキリスト教信仰にもとづく教育の場です。人は、教育によって真の人間となります。受けた教育は、虫に食われたり盗人に盗まれることはありません。受けた教育の価値は永遠であり、失われるどころか使うほどにその輝きを増していき、一生を支える人生の土台となっていきます。青山学院横浜英和小学校は、これからも青山学院との教育連携の中で新しい時代に生きる子どもたちを見据え、可能な限り社会と時代の要請に応えるために質の高い教育を構築していきます。

青山学院横浜英和小学校 校長
中村 貞雄



A CHILD WHO RESPECTS GOD

神を畏れる子ども

神様と向き合う基本姿勢として、神を畏れ敬う心を育てます。そして、私たち一人一人は、神様に愛されているかけがえのない存在であることを知り、お互いを愛し、赦し、尊敬する心を養います。



毎日の礼拝

毎朝、全校児童が礼拝堂に集い、神様を賛美し、祈りをささげます。心を落ち着けて、聖書をとおして生き方を考える大切な時間です。



聖書の授業

1年生から6年生まで、週1時間の聖書の授業があります。幼いころから聖書に親しみ、神様に愛されているかけがえのない自分を知り、聖書の教えに従って生きる生き方を実践できるように学びます。



特別礼拝

イースター礼拝やペンテコステ礼拝、クリスマス賛美礼拝など、キリスト教の暦に沿って行われる特別な礼拝です。教会の牧師先生をお招きしてお話を聞いたり、花の日・子どもの日礼拝や収穫感謝礼拝では、先生のお話を聞いたりします。



A CHILD WHO CARES ABOUT PEOPLE

人間を大切に する子ども

神様によって創造された一人ひとり、等しく尊い存在です。小学校での6年間、様々な経験を重ねることによって、誰に対しても思いやりを持って接することができる、豊かな心を育てます。



パンと牛乳の日

—もう一人の友だちのために—
貧困で苦しむ人々のために自分たちができることはないかと、児童会の発案で1987年に始まった「パンと牛乳の日」。給食のおかずを我慢して生み出したお金で16人の里子を支援しています。



SDGs への 取り組み

児童会が主体となり、ペットボトルキャップ・古切手・アルミ缶プルタブを収集しています。エコキャップは再生プラスチック原料として換金され、ポリオワクチン購入代としてNPO団体へ寄付しています。



聖坂支援学校との 交流会

5年生児童が、初めて会った支援学校のお友だちとペアになって、一日を一緒に過ごします。相手の気持ちを考えて行動することや、寄り添うことの大切さを学ぶことは、心の成長につながっています。



平和教育

講師をお招きしてさまざまな国の様子を知る機会や、平和について考える講演会を行っています。他者を思いやりと同時に、自分自身を見つめ直し、広い視野を持って隣人を愛すること、平和を願い、平和をつくり出す人になることをめざします。



異学年交流

1年生から6年生の児童が共に活動する異学年の交流を大切にしています。各クラスの同じ出席番号の12人が1グループになり、お弁当を食べて遊ぶ会を定期的に行っています。また、6年生が担当の1年生のお話をしたり、1～3年生までの3学年縦割りグループで遊んだりする活動も行っています。



A CHILD WHO THINKS INDEPENDENTLY

考える子ども

教えられたことをただ学ぶのではなく、教師や友だちと共に考え、共に話し合い、触れ合うことを大切にする授業を通じて、児童が主体的に行動するために必要な、考える力を養います。

国語教育

1年生から作文指導に力を入れています。特に、その日一番心に残ったことをよく思い出し、丁寧に書く日記は、自分自身を見つめることを通して明日のよりよい生活へとつながり、同時に文章表現力も養います。6年生は、自ら決めたテーマで資料を集め、考察し、意見を綴る卒業論文を、長い期間をかけて書き上げています。



算数教育

算数科、単なる計算問題の解法だけでなく、なぜそうなるのかを考え、自ら答えを導き出す力を養います。それに加えて、習熟のため本校独自の問題集を使用しています。5・6年生は「基礎編」と「応用編」の2種類を用意し、個々の理解度に合わせて学習を進めています。一人ひとりのペースに合わせて丁寧に指導を行い、算数を通して考える楽しさを味わえる授業をめざしています。



理科教育

実験や観察を多く取り入れ、感動から学びを深める授業が展開されています。特に観察の授業ではカブトムシの幼虫や顕微鏡を使った観察など多岐にわたり、気づく力を養っています。城ヶ島の地層見学や、葉山ハートセンターの見学など、校外学習も多く行い、鳥の足や豚の内臓などの解剖実験は中高の教員と協力して小グループで行うなど、見て触れて体験を重視した授業を行っています。



社会科教育

社会で起こるできごとを自分のこととして捉える、ということ大切にしています。自分たちの身の回りのことから、世界で起こる問題へと広げていき、視野を広げて学ぶカリキュラムを組んでいます。また、本物を通して学ぶことを重視し、校外学習を多く実施し、教室での学びをさらに深い学びへとつなげていくことができます。



英語教育

ネイティブ教員と専科教員の2人体制で行います。1年生から英語の音声やリズムに慣れ、次第にスピーチやロールプレイなど多様な活動を通して表現力を高めていきます。毎年9月にはスピーチコンテストも実施します。約3ヶ月間個別練習を行い、あきらめずに頑張りぬく強い心が育まれ、大きな達成感を味わうことができます。



ICT教育

2024年度にパソコン室を、アクティブラーニングが行いやすい環境へとリニューアルしました。また合わせて、普通教室と特別教室にも70インチの電子黒板が設置されました。2025年度より段階的に児童一人ひとりに端末を配備し、ICTを活用した学習活動の推進を図るとともに、情報リテラシーの育成、創造性・問題解決能力の向上をめざし準備を行っています。



A CHILD WHO IS PERSISTENT

やりぬく子ども

何事も最後までまじめに取り組むことは、子どもたちの可能性を大きく伸ばす経験となります。日々の学習、年間を通して取り組む委員会やクラブ活動、学校行事の中で、やりぬくことの大切さを学びます。



なわとび指導

本校の『リズムなわとび』は、30種類以上の跳び方があり、一人でもグループでもいろいろな跳び方を組み合わせ、音楽に合わせて楽しく跳ぶことができます。みんなで心をついに、息を合わせて跳んだ時には、大きな喜びや達成感を感じることができます。



合唱隊

歌うことが好きな4年生以上の希望者が集まり、週に1回の放課後練習や夏休みなどの特別練習で、本格的な発声法を学びます。イースター礼拝やクリスマス賛美礼拝で賛美をしたり、私立小学校の音楽会に参加したりしています。



フェスティバル

毎年11月に学習発表をします。学年ごとに、演劇・合唱・和太鼓などに取り組み、約1か月間の練習を経て発表します。仲間と協力して作り上げることや、ホールの大舞台上で演じることは大きな達成感と充実感を得ることができます。



ONE DAY 青山学院横浜英和小学校の1日



~07:57
とうこう

08:00~08:10
あさどくしょ

08:15
れいはい

08:30~08:40
あさのかい

08:45~12:15
1~4じかんめ

12:15~12:55
きゅうしょく

13:40~14:25
5じかんめ

14:45
げこう

1年生じかんわり 一例

	月	火	水	木	金
	あさどくしょ・れいはい・あさのかい				
1じかんめ	さんすう	さんすう	こくご	こくご	さんすう
2じかんめ	せいかつ	せいかつ	さんすう	こくご	こくご
	20分休み				
3じかんめ	ずこう	おんがく	おんがく	そとたいいく	たいいく
4じかんめ		パソコン	たいいく	えいご	どくしょ
	きゅうしょく		おべんとう		きゅうしょく
	ひるやすみ				
5じかんめ	こくご	こくご	こくご	せいしょ	こくご
	かえりのかい				クラスのじかん かえりのかい

POINT

学校給食

学校給食を通して健康な体をつくり、心の成長を遂げていくようにと考えて、1957年9月から始められました。当時の湯本アサ学園長(当時成美学園)は、正しいマナーは人間同士の楽しい関係を作るものであり、給食の約束を守ることが、大切な教育活動のひとつであると考えました。



YMCA 青山学院横浜英和小学校 アフタースクール

子どもたちが、放課後、健やかに安心して過ごせる空間、体験したいことができる有意義な環境づくりをめざしています。運動能力が向上する「キッズコーディネーションプログラム」や基本的なパソコンスキルを身につける「パソコン教室」なども行っています。活動終了後、YMCAスタッフが最寄りの蒔田駅まで引率し、乗車を確認します。



制服紹介



補助バッグ



ナップサック



ランドセル



夏服



冬服

ANNUAL EVENTS

青山学院横浜英和小学校の年間行事

4月

- ・入学式
- ・1年生を迎える会
- ・プレーデー
- ・イースター礼拝

5月

- ・自然学校 (2~6年生)

6月

- ・花の日・子どもの日 礼拝

7月

- ・水泳教室

8月

- ・夏休み

9月

- ・芸術鑑賞会
- ・自然学校 (1年生)

10月

- ・聖坂支援学校との 交流会 (5年生)

11月

- ・収穫感謝礼拝
- ・フェスティバル
- ・思い出旅行 (6年生)
- ・球技大会

12月

- ・クリスマス賛美礼拝

1月

- ・子どもオリンピック

2月

- ・児童向け講演会

3月

- ・6年生を送る会
- ・卒業式



プレーデー



球技大会



1年生 遠足



6年生 思い出旅行



6年生 思い出旅行



水泳教室



1年生 自然学校



2年生 自然学校



3年生 自然学校



4・5年生 自然学校



6年生 自然学校



4・5年生 自然学校

OUTDOOR EDUCATION TRIP

自然学校

自然学校は1924年から続いている行事です。1年生から6年生まで、それぞれの学年に合わせた場所やプログラムで行っています。特に、4年生と5年生は学年の枠を超えて縦割りでの活動を行っています。神様が作られた自然の偉大さを共に感じ、寝食を共にする共同生活の楽しさ、難しさを学ぶ良い機会となっています。

ACTIVITIES

児童会活動
クラブ活動

児童会活動

学校の教育目標に基づき、児童の自治活動によって自主的・社会的な生活態度を身につけることを目的とし、4年生以上の児童がより良い学校づくりのために活動しています。

- ・学級委員会
- ・宗教委員会
- ・放送委員会
- ・図書委員会
- ・体育委員会
- ・保健委員会
- ・給食委員会
- ・美化委員会
- ・緑化委員会
- ・新聞委員会
- ・集会委員会
- ・ボランティア委員会



放送委員会

図書委員会



新聞委員会



緑化委員会



パソコンクラブ



テニスクラブ



サッカークラブ



ハンドベルクラブ

クラブ活動

クラブは4年生から参加できます。文化系、スポーツ系などさまざまなクラブがあり、希望したクラブに分かれて学年の枠を超えた活動を行っています。

- ・テニスクラブ
- ・バスケボールクラブ
- ・卓球クラブ
- ・サッカークラブ
- ・スポーツクラブ
- ・聖句書道クラブ
- ・理科クラブ
- ・パソコンクラブ
- ・ハンドベルクラブ
- ・工芸クラブ



礼拝堂(外観)

礼拝堂(室内)

体育館

英語教室

音楽室

理科室

家庭科室

プリテンホール

図書室

校庭

小学校校舎

FACILITIES

子どもを育む施設

卒業生からのメッセージ

Graduate's Message



川野 由貴さん

2018年度 卒業
青山学院大学 国際政治経済学部 1年生

小学校時代を振り返って、特に忘れ難いのは鎌倉への社会科見学です。自分たちで立てた計画をドキドキしながら実行。途中で道を間違えたものの、想定外の場所で頬張った木漏れ日の中でのお弁当は今も忘れられません。大好きだった聖書クラブの活動も、休み時間をいっぱい使って楽しんだバスケットボールも、どれも大切な思い出です。学習面で成長したのは英語です。低学年から学んだおかげで中学校英語にもスムーズに移行できました。今では得意科目となった英語をさらに高め、将来は語学力を活かせる分野で活躍したいと考えています。



迎えに来てくれた妹と小学3年生の私。



吉村 清花さん

2018年度 卒業
早稲田大学 社会科学部 1年生

小学校時代は、自分の知的探究心のままに学びを深めました。6年生になると、1年間をかけて興味のある分野を研究します。私は当時注目されていたAIをテーマに、卒業論文を執筆しました。社会科見学の機会も豊富で、さまざまな場所へ赴きました。児童の興味を引き出してくれる環境で学んだからこそ、現在も幅広い分野に関心を持つことができます。社会学部を選んだのも、当時の経験が大きく影響しているのは間違いありません。英和小学校は、人生の幅を広げてくれる場所です。皆さんもぜひ、やりたいと思えることを見つけてください。



ドキドキしながら臨んだ入学式。



長谷川 ももさん

2014年度 卒業
東京藝術大学 音楽学部 4年生

アドベントキャンドルが灯る幻想的な礼拝の時間、ワクワクした理科の実験、料理クラブでのピザ作り…。数えきれないほど思い出が、温かな日常の風景としてよみがえります。あまり得意でなかった勉強とヴァイオリン・ピアノの練習を両立するのは大変でしたが、努力し続けられたのは、そんな私を応援してくれる英和小学校という居場所があったからです。ここで学んだからこそ「どんな状況でも継続する精神力」を身につけることができました。当時の多様な経験によって視野が広がり、柔軟な思考力が養われたと、今も感謝の気持ちでいっぱいです。



小学2年生の生活科で作ったうちわを持って。



加藤 佑菜さん

2012年度 卒業
東京医科大学病院 救命救急センター 看護師

英和小学校で学んだ「他者への共感と寄り添う心」は、私の看護観の基盤となっています。特に印象深いのは、聖坂養護学校との交流です。レクリエーションや対話を通して、幼いなりに他者を大切にする心を学びました。現在は救命救急センターで、患者さんやご家族から信頼される存在となるべく、誠心誠意寄り添うよう努めています。時には辛いこともありますが、責任を持って最後までやり遂げることが身についたのは、当時の学びと経験があったからに他なりません。皆さんもこの恵まれた環境で学びを深め、将来の軸を築いていってください。



満開の桜も祝福してくれた入学式。

HISTORY 沿革

1880 明治 13	1886 明治 19	1900 明治 33	1908 明治 41	1923 大正 12	1929 昭和 4	1996 平成 8	2000 平成 12	2003 平成 15	2004 平成 16	2010 平成 22	2020 令和 2
宣教師H・G・プリテンがプリテン女学校を山手48番に創立	横浜英和女学校に改称	県知事の許可を受け横浜英和女学校附属幼年学校(小学校)となる	小学校・幼稚園を本牧上台に移転	小学校を時田の丘に移転	成美学園小学校となる 法人名を成美学園に改称、	横浜英和小学校となる 法人名を横浜英和学院に改称、	学院創立120周年記念式典	小学校新校舎完成	小学校新体育館完成	学院創立130周年記念式典	校名を青山学院横浜英和小学校に改称

CURRICULUM 学年別 教科授業時間

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭科	体育	聖書	英語	読書	習字	学級会	パソコン	総合		総時間数
																児童会	クラブ	
1年	8	-	4	-	2	2	2	-	3	1	1	1	-	1	0.5	-	-	25.5
2年	8	-	5	-	2	2	2	-	3	1	1	1	-	1	0.5	-	-	26.5
3年	6	2	5	2	-	2	2	-	3	1	2	0.5	0.5	1	1	-	-	28
4年	6	3	5	3	-	1.5	2	-	3	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.5	30
5年	5	3	5	3	-	1.5	2	1.5	2.5	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.5	30
6年	5	3	5	3	-	1.5	2	1.5	2.5	1	2	0.5	0.5	1	0.5	0.5	0.5	30

AREA 通学方面人数

(単位:人)

青葉区	7	磯子区	27
都筑区	4	金沢区	5
港北区	19	栄区	2
鶴見区	5	川崎市	36
緑区	4	東京都	31
神奈川区	26	逗子市	1
瀬谷区	1	藤沢市	3
旭区	3	大和市	2
保土ヶ谷区	14	鎌倉市	1
西区	39	綾瀬市	1
中区	56	小田原市	1
泉区	5	横須賀市	1
戸塚区	11	三浦郡	1
南区	53	平塚市	2
港南区	31	合計	392

SAFETY MEASURES 安全対策

登校時は警備員が立ち、父の会のお父様方にもお手伝いいただき安全を確保しています。始業時刻を過ぎると校門は施錠します。下校時は各担任が開錠および施錠し、クラスの方面別グループで帰ります。登下校時刻や、警報が発令された場合の臨時休校などの連絡は、事前に登録されたアドレスにメールでお知らせします。



青山学院大学との連携

1 青山学院大学の教育課程との連携

- ・青山学院大学生による教科学習やクラブ活動のアシスタントリーダー。
- ・小学校の自然学校(宿泊行事)でのお手伝い。教育実習生の受け入れ。

2 青山学院大学出張セミナーやプログラムへの参加

- ・青山学院大学出張セミナーへの参加(青山学院横浜英和中学高等学校と共に)や大学主催プログラムへの参加

3 青山学院初等部との交流

- ・宗教行事における聖歌隊、合唱クラブ、ハンドベルクラブの合同練習及び合同発表会。
- ・ICT教育や宗教活動等での教員の勉強会や情報交換。

